

# もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



## 一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みすほ

編集 西部伸也

### 本号内容

1. 定期総会報告
2. 比婆山スカイラン・登山フェスティバル報告
3. 県高校総体(登山)報告
4. クライミング中国ユース選手権報告
5. 県民ハイキング(灰ヶ峰)報告
6. 登山教室(1~3回)報告
7. 山岳救急法研修会報告
8. 国体県予選報告
9. F I S E 広島大会報告
10. 全日本登山大会報告
11. ひろしま山の日報告
12. 県東部安全登山講習会報告
13. 東京五輪メキシコ選手団交流報告
14. 岳連短信

### 平成 30 年度定期総会報告

日時：5 月 26 日 (土) 15:00~16:00

場所：ホテルチューリッヒ東方 2001

議題：1. 平成 29 年度事業報告

2. 平成 29 年度決算報告・監査報告
3. 平成 30 年度事業計画
4. 平成 30 年度予算案
5. その他

出席者 加盟団体 14、個人会員 3

委任状提出 加盟団体 10、個人会員 10

議決個数 283 中、254 の出席・委任状で総会は成立。

司会：西部 (事務局長) 議長：山田 (会長)

資料 1 号議案 H29 事業報告 事務局 3 頁・指導部 2 頁・普及部 1 頁・競技部 1 頁・国際部&県東部 1 頁・

高体連部 1 頁の計 9 頁 2 号議案 H29 決算監査報告  
財産目録 1 頁・収支計算総括表&監査報告 1 頁の計 2  
頁 3 号議案 H30 事業計画 (方針) 1 頁・具体的な  
事業計画表 (A3) 1 枚 4 号議案 H30 予算案 1 頁  
1~4 号議案合計 13 頁 + (A3) 1 枚  
他に総会出席委任状名簿 2 頁・役員名簿 1 頁・組織図  
1 頁

### 協議の主な内容

昨年度 1 月の臨時総会での名称変更を受け、今年度  
は次の 4 つの活動方針が承認された。①県民ハイキン  
グの実施を通して加盟団体の活性化・一般登山愛好者  
への安全登山の指導普及を図る ②スポーツクライ  
ミングの強化・PR に努める ③安定した財政基盤を  
目指し、長期ビジョンを策定する ④山岳遭難を減らす  
対策に取り組み、山岳共済への加入促進に努める

また、H30 予算案に対して、ひこばえ・森さんより、  
「予算段階での赤字計上はいかがなものか」という質  
問があり、来年度の予算案作成に当たっては留意する  
こととした。

なお、総会終了後、同じ会場にて懇親会がもたれ、  
21 名が出席。全員の 1 分間スピーチなど、有意義な会  
となった。

総会の様子 (岳連旗は日々新しいものができます)





## 第 26 回比婆山国際スカイラン & 広島県岳連登山フェスティバル 報告

日時：スカイラン 5月 20 日 (日) 10 時スタート  
登山フェスティバル 5月 19 日 (土) 17 時～  
参加者：スカイラン 選手 760 名・役員 229 名  
登山フェスティバル 約 230 名

天候 (5/20 10 時) 快晴

スタート地点 (標高 850m) 気温 26.2 度・湿度 21%  
鳥帽子頂上 (標高 1225m) 気温 12.0 度・湿度 64%  
スカイラン成績 (各コース 1～3 位)

A コース (18.5km) 男子

- ① 武村佳尚 (四国中央市陸協) 1 時間 37 分 7 秒
- ② 伊藤潤 (大和走友会) 1 時間 43 分 1 秒
- ③ 矢吹陽平 (ヒロシマランクラブ) 1 時間 43 分 12 秒

A コース 女子

- ① 石原さくら (奥出雲体協) 2 時間 15 分 31 秒
- ② 横井八重子 (広島市西区) 2 時間 17 分 29 秒
- ③ 渡邊奈美子 (広島市安佐北区) 2 時間 29 分 24 秒

B コース (9km) 男子

- ① 高前直幸 (寺岡整形外科病院) 47 分 50 秒
- ② 菊地裕太 (JXTV 麻里布) 48 分 21 秒
- ③ 石原悠太 (島根県) 50 分 36 秒

B コース 女子

- ① 奥田千恵 (山口県) 1 時間 2 分 12 秒
- ② 山本愛 (岡山県) 1 時間 2 分 53 秒
- ③ 広石のぞみ (広島港湾振興事務所) 1 時間 3 分 30 秒

今年は韓国からの参加がなかったのは残念であったが、好天にも恵まれ、大会は成功裏に終了した。大会準備・後片付けも含め、運営スタッフの皆様、ご苦労様でした。なお、次回大会より全体取りまとめが永津さんから岩城さんに交代予定とのことです。永津さん長年ご苦労様でした。

登山フェスティバル



スカイラン開会式・スタート直後



**広島県高校総体登山競技報告**

期日：6月2日（土）～3日（日）

会場：呉市 七国見山・野呂山一帯

参加校：男子 10・女子 3

参加者：男子 91・女子 44・顧問役員 27、計 162 名

成績（入賞校）

男子 ①修道 97.0 ②広島学院 96.8 ③基町 79.7  
 ④高陽 67.4 ⑤呉三津田 65.6 ⑥五日市 52.6

女子 ①基町 96.8 ②ND清心 93.3 ③五日市 80.4

この結果、男子修道・女子基町が 8/3～7 三重県鈴鹿山脈で開催されるインターハイ（全国高校総体）登山大会に出場します。両校とも健闘を祈ります。残念ながら優勝できなかった学校にあっては、9月の中国高校登山大会広島県予選で頑張ってください。また、各校とも夏休みに充実した山行ができますように。

大会2日目、野呂山兜岩より川尻に下り、審査を受ける



閉会式（川尻まちづくりセンターにて）

**スポーツクライミング 中国地区ユース選手権報告**

期日：6月16日（土）

会場：クライムセンターCERO

エントリー 合計 90 名 内訳は以下の通り

ジュニア (1999～2000 年生まれ) 男子 5・女子 1  
 ユース A (2001～2002 年生まれ) 男子 15・女子 10  
 ユース B (2003～2004 年生まれ) 男子 14・女子 8  
 ユース C (2005～2006 年生まれ) 男子 10・女子 10  
 ユース D (2007～2008 年生まれ) 男子 9・女子 8

リザルト（各カテゴリー1～3 位。太字は広島県選手）

男子ジュニア ①中田大地(鳥取) ②西本波瑠斗(岡山) ③久野純(山口)

女子ジュニア ①山口真央

男子ユース A ①千原悠 ②内田輝 ③谷口蓮(岡山)

女子ユース A ①岡崎遙 ②内村佑唯子(山口)  
 ③長見萌(山口)

男子ユース B ①延近陸空斗 ②福谷元気(岡山)  
 ③柏井颯太(島根)

女子ユース B ①菅野怜(岡山) ②大藪杏理奈 ③石井杏奈

男子ユース C ①大下賢実 ②村田こうき(山口)  
 ③仲村温人(岡山)

女子ユース C ①赤崎百星(山口) ②河上史佳(鳥取)  
 ③深本京那(山口)

男子ユースD ①山本陸生(島根) ②田坂玖弥

③延近大和

女子ユースD ①岩本かんな(山口) ②真木杏紫

③福光蒼里(鳥取)

競技部を始めとする大会スタッフの皆様、ご苦労様でした。選手の皆様、今後の健闘を祈ります。該当の選手にあっては、來たる国民体育大会中国ブロック大会(7/20~22 山口市) でも頑張ってください。

競技風景



男子ユースAの表彰



参加者全員、山田会長を囲んで



### 第1回県民ハイキング報告

期日：6月17日 (日)

場所：吳市 灰ヶ峰 (737m)

参加者：一般 26・会員 9・スタッフ 5、計 40 人

時間の記録 9:15 呉駅前集合・受付・開始式・ストレッチ 9:45 出発 10:45 登山口 13:10 山頂・昼食・記念写真 14:00 下山開始 15:30 登山口・解散 16:00 西畠バス停

駅から登山口までの街中歩きが結構長く、コース全体の標高差も大きかったため、少々きついハイキングとなりましたが、多くの人が山頂まで登り大展望を楽しみました。また、街中歩きの途中と山頂での豊田理事長による歴史解説が興味深いものでしたし、下山途中では小田理事による歩行・ストックワークについてのワンポイントレッスンもありました。反省点としては、最終ゴール直前で道迷いが出たことで、これについては今後しっかりと対策しなければなりません。

呉駅前での受付



呉駅から灰ヶ峰を目指す



澤原邸三ツ蔵での豊田理事長の歴史解説



平原浄水所下のビューポイントより



山頂手前の樹林帯を行く



山頂からの呉市街の眺め



山頂での記念写真



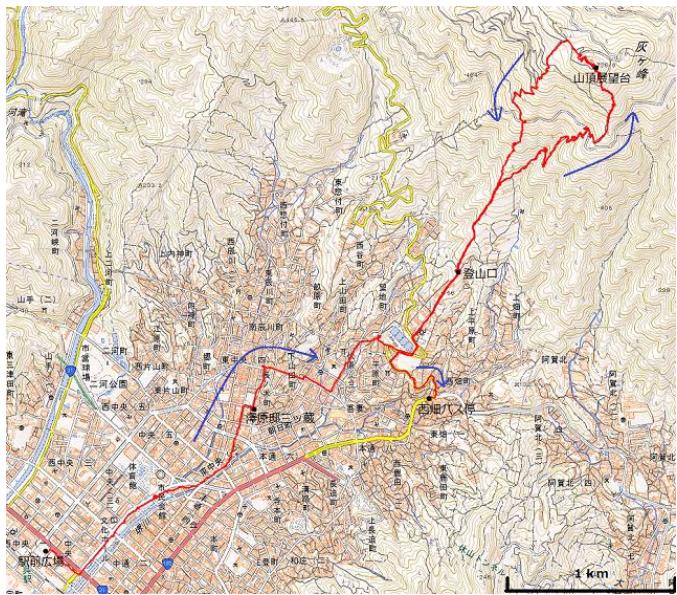
現場を前に 18 名の殉職者を出した呉市山林火災(1971 年)の解説



小田理事のワンポイントレッスン



第1回県民ハイキングルート図



実感できる良い山行でした。今年もあつという間に1年が過ぎるのでしょうが今年は毎月の山行を休むことなく学ぶ機会を逃すことがないようにと思っています。

(感想文 登山教室2年 桑実 熊)



(写真提供 久保田 征治)

### 指導部 登山教室報告

第1回2年生 4/8(日)

登山形態：日帰り山行

山域：天応鳥帽子岩山

人数：8名 (スタッフ含)

今回の2年生は岩稜歩き・ロープワークの訓練で天応鳥帽子岩山に行ってきました。天候に恵まれ、予定通りの訓練ができました。

(指導部 森本 覚)

いよいよ2年目がスタートしました。今回は岩稜歩きでしたが、ロープなどを使いながらは初めての経験でとても新鮮でした。実際にロープワークをしなければならない状況になるとやはりその重要性がわかります。早く正確な作業がとても大切だと実感しました。また、話には聞いていましたが順番を待つ間が長くなると体が冷えてきて動きがぎこちなくなりました。足を滑らすと危険な個所もありましたが、焦ることなく慎重に進んでいくことが大事ですね。三点支持もまだまだ不十分ですがまずは安全確実な歩き方を学んでいきたいです。山行後新宮原さんのおかげでロープワークをしている自分を動画でみることができました。自分のイメージと実際の動きは全く違いとても参考になりました。ロープワークができると行ける場所が増えると上原さんがおっしゃっていましたがそれを

第1回1年生 4/22(日)

登山形態：日帰り山行

山域：行者山～傘山

人数：16名 (スタッフ含)

2018年度登山教室の1年生は歩行技術と地図見の基本として行者山～傘山に行ってきました。4月にしては暑い1日でしたがみなさんしっかりと歩けました。

(指導部 森本 覚)

今日はいい天気…を通り越し少し暑すぎるくらい。期待いっぱい…でも不安もいっぱい。「山に登る前の準備も大事」と教わり臨んだ行者山、傘山の縦走！地図の色塗りで見にくく等高線を頑張って色塗り、言われた物はほぼ買いそろえた。

今まで自分がネットで調べても、今一歩わからなかったコンパスの使い方を教わる。数回合わせているとなんとなくわかる。奇麗な山つつじを見ながら歩き、重い荷物を背負って歩いても大丈夫な、なんば歩きも教えてもらう。休憩の度に並び順が変わり色んな人と話したが、今日一日ではみんなの名前は覚えられなかった。一年かけてゆっくり覚えていこう。

最後に荷物の説明があり、あれも買わなくちゃ、これも買わなくちゃ…。実際の荷物を二年生から借りて背負わせてもらう。途中膨らんでいた気持ちが半分し

ぼんと又不安に変わった…。それでも、一年後二年後の自分に期待しつつ終わった今日の山行だった。

(感想文 登山教室 1 年 吉川 智重子)



(写真提供 森本 覚)

第2回2年生 5/13(日)

登山形態：日帰り山行

山域：三倉岳

人数：8名 (スタッフ含)

今回の2年生は岩稜歩き・ロープワークの訓練で岩渕山に行く予定でしたが雨の為三倉岳に移動し炊事棟でロープワークの練習をしました。

(指導部 森本 覚)

岩渕山、岩稜歩きが流れるのは今回で2回目、どうも我々は岩渕山と縁が無いようだ。

代わりに大竹の三倉岳、以前、個人的に登ったことがあるが今回は屋根付きの炊事棟を利用したロープワーク訓練。手近な岩場の斜面を利用した懸垂下降の練習。

120と60のスリングで組んだ簡易全身ハーネスを装着。

8mmの補助ロープって太さ的には頼りないのだが意外と有効だ。これ以上太いと重くて不便。

下降の途中、太ももにロープを回して身体を安定させ、両手を作業可能とする方法を習う。色々な工夫があるものだ。

懸垂下降に入る際、わたし的には最初にテンションを掛け始めるときが不安。掛け終わって下降を始める

不安よりも判断が効くようになる。ということは、最初にテンションを効かせる場所をよく考える必要があるようだ。安全な場所が得られれば良いのだが、そろばかりではない。

(感想文 登山教室 2 年 新宮原 正美)



(写真提供 久保田 征治)

第2回1年生 5/27(日)

登山形態：日帰り山行

山域：高鉢山～安駄山

人数：19名 (スタッフ含)

今回の1年生は地図の見方の基本として高鉢山から安駄山に行ってきました。天気に恵まれたので花茎山に進むことができ、急坂の下りを体験できました。

(指導部 森本 覚)

木立の中、爽やかな空気を感じながら 14km の山行が始まりました。

一年生が先頭を交代しながらの歩行。総勢 19 名の足並みを揃えるよう、しかも道を間違わないよう確認しながら歩くのは、思ったより難しかったです。

それでも山の形状を見たり、地図を確認したりして前回同様に歩けたのも安駄山まで。そこからは、これが登山道？ どこに分岐があるの？ この滑り台の様な坂道は何？ といった、これまでに経験した事のない山容に悲鳴を上げそうでした。

それでも、声を掛け合いながら倒木を乗り越え、低木を搔き分け、滑って転んで本当に悲鳴を上げ、石だらけの道を抜けて何とかアスファルトの道に出た時は、本当にホッとした。

途中で枝を握ったまま滑った時に肩を痛めてしまい、治るのにまたしばらくかかるかなと案じてますが、教

室のメンバーがいたからこそ歩き通せたんじゃないかなと感じています。

次回はいよいよ 12kg を担いで山行。怪我なく、楽しく、そして少しずつ山での知識と経験を重ねていきたいと思います。

(感想文 登山教室 1年 益田 みゆき)



(写真提供 森本 覚)

第3回 2年生 6/8(金)～10(日)

登山形態：テント泊山行

山域：くじゅう連山

人数：9名（スタッフ含）

今回の2年生はテント泊縦走の訓練でくじゅう連山に行ってきました。7月の遠征前に個々の問題点を確認できました。

(指導部 森本 覚)

2年生初遠征。ミヤマキリシマでピンク色に染まつたお山に会える、楽しみだなあとワクワクしていたところ、最終打ち合わせの時に、「遊びに行くんじゃないぞ。信州遠征に向けて荷物を背負って岩場や雨の中を歩く訓練ということを忘れるな。」と上原アドバイザーに言われ、気を引き締めなくてはと気持ちを切り替えました。

初日の荷物は、共同装備を含めると15キロ。スタート早々から、ぬかるんだ泥に足がとられ、ふくらはぎが轡りそうな気配。慌てて塩をなめ、水分を多めに摂る。期待していなかった天気が、だんだんと青空になっていくと、気持ちが高揚していきました。何度も

登り降りを繰り返しながらも、美しい景色に励まされながら楽しく登ることができました。

しかし、予想以上の暑さに2.5リットルの水分を下山あと1時間位のところで飲み干してしまいました。もう少し量を増やすべきだったのか、飲むペースが早かったのか、来月の行動時間を考えると、もう少し増やした方がいいのか悩むところです。

久しぶりのテント泊とあって、食事の段取り、テント設営に少々手間取り、スタッフに頼ってしまった事が反省点だと思います。強風や、雨の中での設営も今後あり得ることを想定し、イメージトレーニングもしなくてはいけないのかなと思いました。

今回歩き終えて、来月はプラスもう1日歩くと思うと、体力面に不安が残ります。来月の山行に向けて残り1か月、歩けるだけ歩いて、体力増強に取り組みたいと思います。

全員、怪我無く無事終えることができ、サポートしていただいたスタッフに感謝드립니다。ありがとうございました。

(感想文 登山教室 2年 平山 綾乃)



(写真提供 久保田 征治)

第3回 1年生 6/17(日)

登山形態：日帰り山行

山域：木ノ宗山～松笠山

人数：14名（スタッフ含）

今回の1年生はテント泊に向けて12kgを担いでみよう！という事で木ノ宗山から松笠山に行ってきました。梅雨時期ながら天気に恵まれたので熱中症に気をつけながらも計画より早く行動できました。

(指導部 森本 覚)

今回はテント泊の練習で重い荷物を背負っての山行でした。今まで泊りでも山小屋利用だったので、ここまで重量を背負って長い時間歩き続けるというのは初めての経験でした。事前の練習で重さのイメージはできていましたが、後半にかけて腰やひざへの負担が心配でした。ストックをしっかり使いながらとにかく一步一歩をちゃんと意識して歩くことを心がけました。

心配だった腰も幸い大きなダメージなく無事に歩き終えることができてほっとしました。自分は総重量 14 kg でしたが、20 kg や砂を入れてこられていた方もおられ皆さん強いな～と思いました。

当日は良いお天気で梅雨時期とは思えないほどからっとしており、山の中でも気持ちの良い風が吹いていたので体感的にも気分的にも助けられました。これが湿気が多く風もなくという状況だったらもっとしんどかっただろうなと思いました。

今回は歩荷用に飲み水はたくさんあるので、行動食を自分なりに考えいろいろと準備をしました。OS-1 やアミノバイタルゼリー、ウイダーインゼリーなどを前日から凍らせておき保冷バックにいれて持っていました。途中でちょうどよく解けて、この時期なのでやはり冷たいものが美味しかったです。発見だったのは保冷バックに一緒に入れていたおにぎりが冷んやりとしてとても美味しかったことです。自分の好みのものは元気が出るので単調な補給だけにならないように行動食を工夫することは大切だなと改めて感じました。

また、山行あとの身体のメンテナンスにもしっかりと気をつかっていこうと思っていたので、ストレッチやマッサージを丁寧にしました。寝る前にアミノバイタルを飲んで水分もしっかりととりました。やはり翌日の疲れ加減が軽減されたと思います。テーピングでひざの違和感もとれたので、身体のメンテナンスについても今後しっかりと習っていきたいと思います。

来月はさらに重量が増えること、2日連続での山行、慣れないテント泊、記録係ということもあるので、緊張しますがしっかりと準備をして臨みたいと思います。自分だけではこのような練習はなかなかできないし、皆さんと一緒に安心して臨めるのだと思いま

す。来月もどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

(感想文 登山教室 1年 佐々木 修)



(写真提供 久保田 征治)

### 指導部 山岳救急法研修会報告

期日：6/24(日)

形態：研修会

会場：マエダハウジング東区スポーツセンター会議室

参加者：47名

今回の救急法研修会は日本赤十字社指導員の山田純一先生に講師をお願いしました。一次救命処置の方法や山中での応急処置、搬送方法などを研修しました。



(指導部 森本 覚 写真提供も)

AED の使用方法や心肺蘇生は以前にも講習を受けましたが、既に記憶は曖昧でした。非日常的なことなのでそういう場面に自分がもし遭遇したら心肺蘇生や AED が使えるか不安でしたが、何度も AED を使いながらハードな実習を受け少し自信がつきました。また、捻挫をした時のスリングで固定する方法やツエ

ルトで担架を作つての急病人の運び方は今後の山行でも役に立つので覚えておこうと思います。いつトラブルがおきるかわからないので、応急手当や救助方法などは積極的に講習に参加し知識を身に着け、実際に対応できるようにしたいと思います。

(感想文 広島やまびこ会 今岡かおり)

**第 73 回国民体育大会山岳競技 広島県選手選考会  
兼 2018 年度強化・育成選手選考会 報告**

期日：3 月 31 日 (土)

会場：クライムセンター C E R O

**成績**

成年男子 ①錦織瀬奈 ②畠下晴恒 ③中嶋勝貴

成年女子 ①錦織美里 ②山下真由 ③山口真央

少年男子 ①千原悠 ②内田輝 ③延近陸空斗

少年女子 ①岡崎遙 ②松本采笑 ③松崎萌夏・石井杏奈

ユース男子 ①田坂桔平 ②大下賢実 ③香川葉津

ユース女子 ①大藪杏理奈 ②渡部麗未

以下の写真と FISE 写真は C E R O のホームページより

山田会長挨拶



午前中のリード競技



午後のボルダリング競技



以上の結果を受けて、5 月に国体強化選手・育成選手が決定され、6 月には中国ブロック大会の選手・監督が決定されました。ブロック大会の選手・監督は以下の通りです。

成年女子 選手：錦織美里(県立広島大学 2 年)・山下真由(日本体育大学 3 年) 監督：錦織宏美

少年男子 選手：千原悠(安芸府中高校 2 年)・内田輝(呉港高校 3 年) 監督：延近昌彦

少年女子 選手：岡崎遙(広島国際学院高校 2 年)・石井杏奈(大門中学 3 年) 監督：大畠修子

中国ブロック大会は 7/20~22 に山口県山口市のセミナーパークで開催されます。本国体 (10/5~7 福井県池田町にて開催) への出場権が得られるよう、各種別とも健闘を祈ります。

また、会員の皆様も、県民ハイキングが重なつてたりしますが、できる限りの応援をお願いします。

**F I S E (フィセ) 広島大会報告**

ボルダリング・スケートボード・インラインスケート・BMXなどのアーバンスポーツの世界的な大会である F I S E が 4/6~8 に旧広島市民球場跡地で開催され、日本山岳・スポーツクライミング協会からの要請もあって、当連盟からも佐藤副理事長をはじめ何人かが大会スタッフとしてボルダリング競技のお手伝いをしました。

また、中野稔さんや国体県予選にも出場した山下真由さん・千原悠くんらが選手として出場しました。中でも山下さんは決勝まで進出し、2 課題目を一撃で登るなど、会場を沸かせました。

決勝 2 課題目を一撃で仕留めた山下選手



(旗は赤地、封筒文字は緑です)

### 3. 7~8 月の行事案内

- 7/20~22 国体中国ブロック大会（山口県セカーパーク）  
 7/22 第 2 回県民ハイキング（竹林寺・笠山）及び  
 8/5 第 3 回県民ハイキング（東広島龍王山）は豪雨  
 災害のため中止となりました。なお、**登山教室・岳**  
**連例会山行**は予定通り実施します。  
 8/3~7 全国高校登山大会（三重県鈴鹿山脈）  
 8/6~10 高体連夏山合同合宿（上高地）  
 8/11 「山の日」記念全国大会（大山）  
 8/11~13 JOC ジュニアオリンピック（富山県南砺）  
 8/19 自然保護研修会（比婆山、申込締切 8/10）

### 4. 追記

このたびの西日本豪雨災害では各会員・個人会員の皆様におかれましては大変であったろうと思思います。またライフルの被害により現在も厳しい状況が続いているかと思います。被害に遭われた皆様にはお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を願っています。

なお、事務局では正確な被害状況を把握しておりませんので、なにか被害がありましたら事務局までご一報ください。連盟としての支援も検討します。

### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽に寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

### ひろしま山の日報告

ひろしま山の日イベント協力として、6/3(日)江田島の水晶山で、子ども中心の「プチ岩登り」が行われ、当連盟より次の 12 名が参加しました。

参加者：岡谷、新山、平田、小田、福永、小家石、久保田、松本、堂前、貞安、平山、後藤裕

### 全日本登山大会報告

5/16~18 京都で開催され、個人会員の勝村博己さんが参加されていますが、詳しい報告は次号に掲載します。

### 県東部 安全登山講習会報告

6/17 に開催されましたが、これについても次号で掲載します。

### 県東部 東京五輪メキシコ選手団との交流報告

6/24 福山市立体育館クライミングボードにて本県のコースを中心とした 12 名の選手および指導者 2 名が交流し、また 7/1 山野峠沢登りなどで福山山岳会会員と交流がありました。詳しい報告はこれも次号とします。

### 岳連短信

#### 1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 458~460 (5~7 月号)  
 福山山岳会『会報』H30. 5~7 月号

#### 2. 当連盟の新しい旗が完成し、封筒デザインも新しくなりました。